

——持続可能な社会を促し支えるアンテナ・伝搬及び関連システムの
論文特集論文募集案内（和文論文誌 B）——

持続可能な社会を促し支えるアンテナ・伝搬及び関連システムの論文特集編集委員会

リモートワークに象徴されるニューノーマル時代の到来、安全運転／自動運転、クリーンエネルギーの普及やインフラ保守を支えるセンサネットワーク、気候変動の予測、災害への備え、高齢化社会／労働人口減少対策等においては、5G/6G に代表される無線通信システムや各種レーダ／無線センシング、IoT 技術、無線電力伝送などの無線技術が必要不可欠です。これらの技術を発展させるために、無線の出入口であるアンテナ、通路にあたる伝搬、及びこれらを統合したシステムの高度化／多様化が期待されており、アンテナ・伝搬技術は持続可能な社会を実現するための重要な役割を担っていると言えます。

以上の状況を踏まえ、本特集（2022 年 11 月号）では、“持続可能な社会を促し支えるアンテナ・伝搬及び関連システムの論文特集”と題して、アンテナ・伝搬及び関連分野における最新の研究成果の論文を募集致します。和文論文誌の特集では、最新の研究成果を国内の幅広い読者層にわかりやすく、かつ迅速に情報発信できます。また、本特集に掲載される優れた論文に対して表彰を行う予定です。多くの皆様からの積極的な御投稿をお待ちしております。

1. 対象分野

アンテナ設計・解析・測定技術、電波伝搬技術、電磁界解析技術、アクティブ／リコンフィギャラブルアンテナ、メタマテリアル、アダプティブアレー／MIMO 等のアンテナ・伝搬技術、次世代移動通信向けアンテナ・伝搬技術、リモートセンシング／レーダ等のアンテナ・伝搬技術、無線電力伝送技術、人体通信及び医療用アンテナ技術、量子計算等における電磁波計測技術、その他関連する無線システム技術

2. 論文の執筆と取扱い

- 論文の執筆、査読の取り扱い是一般論文と同一とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。
http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html
- 原則として、論文は刷り上がり 8 ページ、レターは同 2 ページを標準とします。
- 特集発行のスケジュールにより、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。
- 著者全員が非会員でも投稿が可能になりました。

3. 主なスケジュール

投稿締切：2022 年 1 月 14 日（金）厳守
第 1 回判定通知：2022 年 3 月中旬を予定
最終判定通知：2022 年 6 月下旬を予定
掲載料支払期限：2022 年 7 月 22 日（金）
発行月：2022 年 11 月号

（本特集の論文は、採録決定後、掲載料を支払いいただくと直ちに早期公開されます。詳細は投稿のしおりを御参照下さい。）

4. 投稿方法

投稿は原則電子投稿とします。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx

にアクセスし、投稿原稿に関するデータの登録と、投稿原稿 PDF ファイル（4 MB まで）並びに編集用電子ファイル（1 ファイルにつき 10 MB まで）をアップロードし、Copyright Transfer and Page Charge Agreement の手続きをして下さい。なお、電子投稿が困難な場合は、学会事務局<wabun-b@ieice.org>に御連絡下さい。

5. 特集編集委員会

委員長 西森健太郎（新潟大）

編集幹事 塩見英久（大阪大）、西本研悟（三菱電機）

編集委員 井上祐樹（NTT ドコモ）、岩井誠人（同志社大）、堅岡良知（KDDI 総合研究所）、今野佳祐（東北大）、田中勇氣（パナソニック）、戸村 崇（東工大）、西 正博（広島市立大）、西山英輔（佐賀大）、羽賀望（群馬大）、藤元美俊（福井大）、村田健太郎（岩手大）

6. 連絡先

西本研悟（三菱電機）

TEL [0467] 41-2534

E-mail : Nishimoto.Kengo@bp.MitsubishiElectric.co.jp